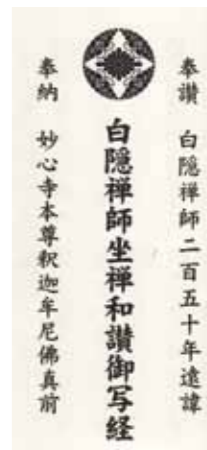


やっています
あつまれ!
写経の日程



第4土曜日の午後1時半から4時半まで本堂で写経ができます。
都合の良い時間に来て、ご自分のペースで写経して、お好きな時間にお帰りください。ただし、初めての時はなるべく1時半にご参集ください。もちろん、檀家さん以外でも参加できます。お友だちを誘ってお越しください。

【写経】令和4年上半年開催日

7月	6月	5月	4月	3月
23日(土)	25日(土)	28日(土)	23日(土)	26日(土)

少しだけオカリナ

コロナ禍の彼岸は、いつもと通りの法要後、短い時間、楽器演奏。オカリナを聞きます。オカリナって、どんな形していたかなあー。という方は、春の訪れを松岩寺の本堂で体感してください。

【日曜の朝の坐禅体験】

やっています



毎週日曜日の朝六時〜七時まで、松岩寺本堂での坐禅に一般の方も参加できます。朝六時に鐘をつきますから、それまでに本堂に入ってください。初心の方には、坐り方をご案内します。三十分坐って休憩、残りの十五分ほど坐って、最後に般若心経をよんで七時に終わります。

【編集後記】

△作家・林芙美子の小説『めし』に、次のような一節があるという。大阪の繁華街を描写した文章で、「カイトン焼き(たいこ焼き)、ホルモン焼き、一杯五円の黒蜜……」と。カイトン焼きだって！現在放映中のNHK朝ドラで、主人公が営んでいるのが、回転焼の「大月」ではないか。でも、あれは今川焼きであり大判焼きであり、カイトン焼きなんてことば自体を知らなかった。
△林芙美子だなんて、さも読書家のような、知ったかぶりの文章を書いているけれど、小説の一節を覚えてくれたのは、井上章一著『大坂的』(幻冬舎新書)です。建築史家の井上章一さんには、『京都ざらい』(朝日新書)という、刺激的なタイトルの本もあります。その中に面白いエピソードが書かれています。京都中心部に住む、老舗の令嬢に山科の男性から縁談がもちこまれます。昔、山科には大石内蔵助も隠れ住んでいました。ご令嬢、いわく。「山科なんかいたら、東山が西の方に見えてしまうやないの」。土地勘がないと、わかりづらい話しかもしれないけれど、京都御所からは東側に見える山も、山を越えて東側へ行ってしまうと、西に見えるし、日がのぼる山が、日が沈む山になってしまいうわけです。東は西で、西が東になる。固い頭を柔らかく、やわらかく。
△この四月から、妙心寺派が出版する月刊誌『花園』の巻頭エッセイを一年間、担当することになりました。乞う、ご期待。毎月、何冊かいただけそうなので、ご希望の方は、申し出てください。お送ります。

やっています

【金つぎ教室】講師 花輪滋實

第四土曜日 午後一時半〜四時半まで

やっています

【仏像を彫る会】講師 高野竜生

休会中

やっています

【声を出して元気になる】講師 林航

休会中

本堂はすべて椅子席です。椅子を並べる間隔を調整するため、こんなご時世だからこそ、電話・FAX・Eメール等でご出席をお知らせください。

墓地管理費のお願いを同封しています。郵便振替で七月末までにお納めください。なお、三月十八日から二十一日まで、墓地では花と線香を用意しています。

3月18日(金曜日=彼岸入り)から21日(彼岸中日)まで、朝8時から夕方5時頃まで、墓地では花と線香を用意しております。

